



OMRON

Sensing tomorrow™

**2013年度
第2四半期(上期)決算
投資家様向け説明会**

2013年10月29日

オムロン株式会社



目次

1. 第2四半期累計(上期)実績と通期見通し

上期実績 … P. 2

通期見通し … P.13

2. 参考資料 … P.22



2013年度 上期実績



エグゼクティブサマリ 上期実績

【上期実績】

- VG2020戦略を着実に実行した結果、計画を上回る。売上・利益の成長を達成。
- 売上総利益率も計画を達成。
- 戦略投資を実行しながら営業利益は計画を大幅に上回る。当期利益は過去最高益。

(億円)

	2013年度 上期実績	2013年度 上期計画	計画比	2012年度 上期実績	前年同期比
売上高	3,597	3,360	+7.1%	3,042	+18.2%
売上総利益率	38.3%	38.2%	+0.1P	36.7%	+1.6P
営業利益	308	225	+36.8%	180	+71.1%
当期利益	212	155	+36.6%	123	+72.6%



連結損益計算書

➤ 売上総利益率は計画達成。前年同期比は+1.6P改善。

(億円)

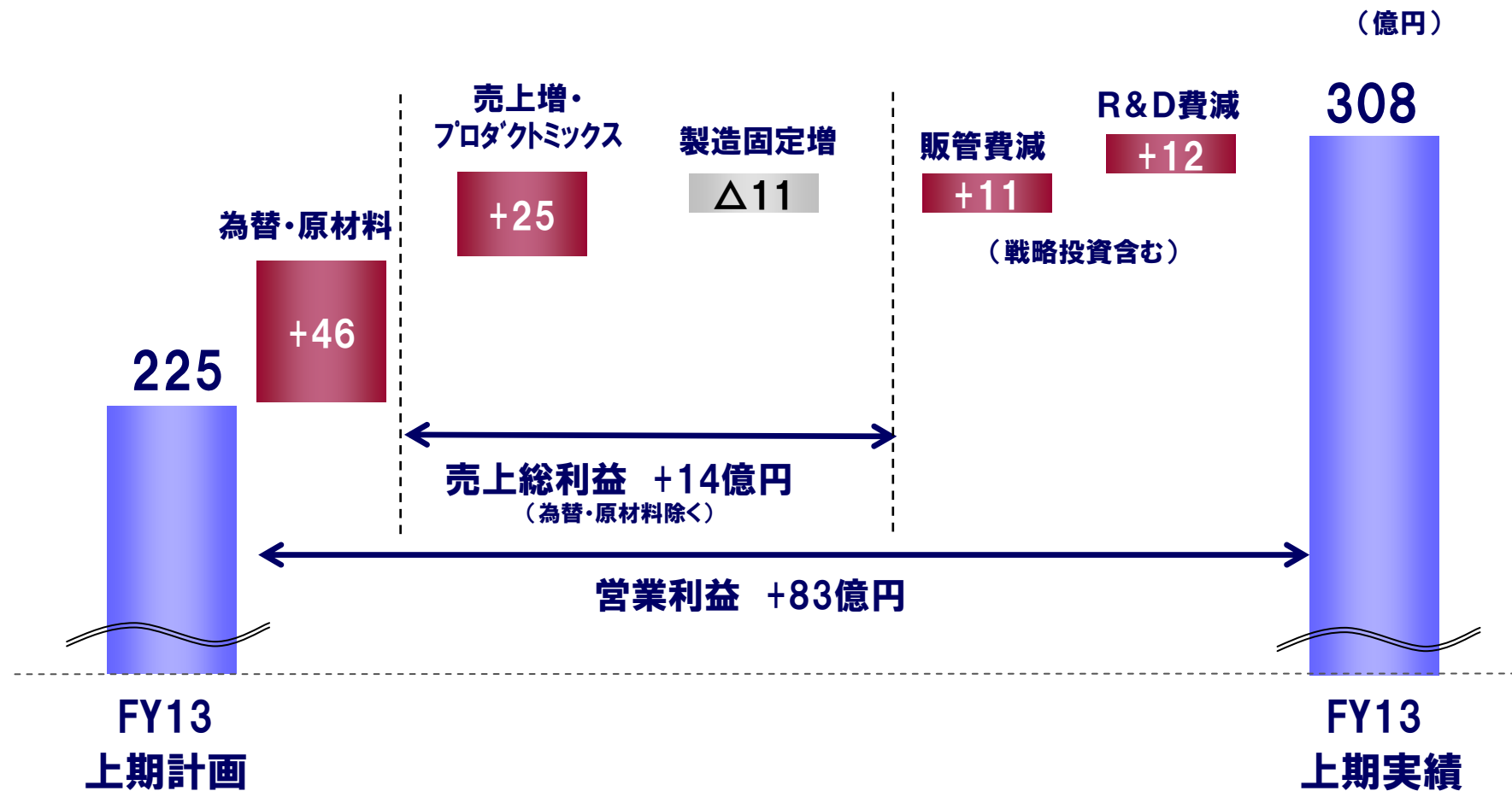
	2013年度 上期実績	2013年度 上期計画	計画比	2012年度 上期実績	前年同期比
売上高	3,597	3,360	+7.1%	3,042	+18.2%
売上総利益 (売上総利益率)	1,378 (38.3%)	1,285 (38.2%)	+7.2% (+0.1P)	1,117 (36.7%)	+23.4% (+1.6P)
販管費	850	830	+2.4%	721	+17.8%
R&D費	220	230	△4.1%	216	+2.0%
営業利益 (営業利益率)	308 (8.6%)	225 (6.7%)	+36.8% (+1.9P)	180 (5.9%)	+71.1% (+2.6P)
税引前純利益	300	220	+36.5%	172	+74.4%
当期利益	212	155	+36.6%	123	+72.6%

USDレート(円)	98.2	90.0	+8.2	79.4	+18.8
EURレート(円)	128.9	120.0	+8.9	101.1	+27.8
銅価格(円)	761	770	△9	686	+75
銀価格(円)	75,083	88,500	△ 13,417	77,833	△2,750



営業利益増減分析（計画比）

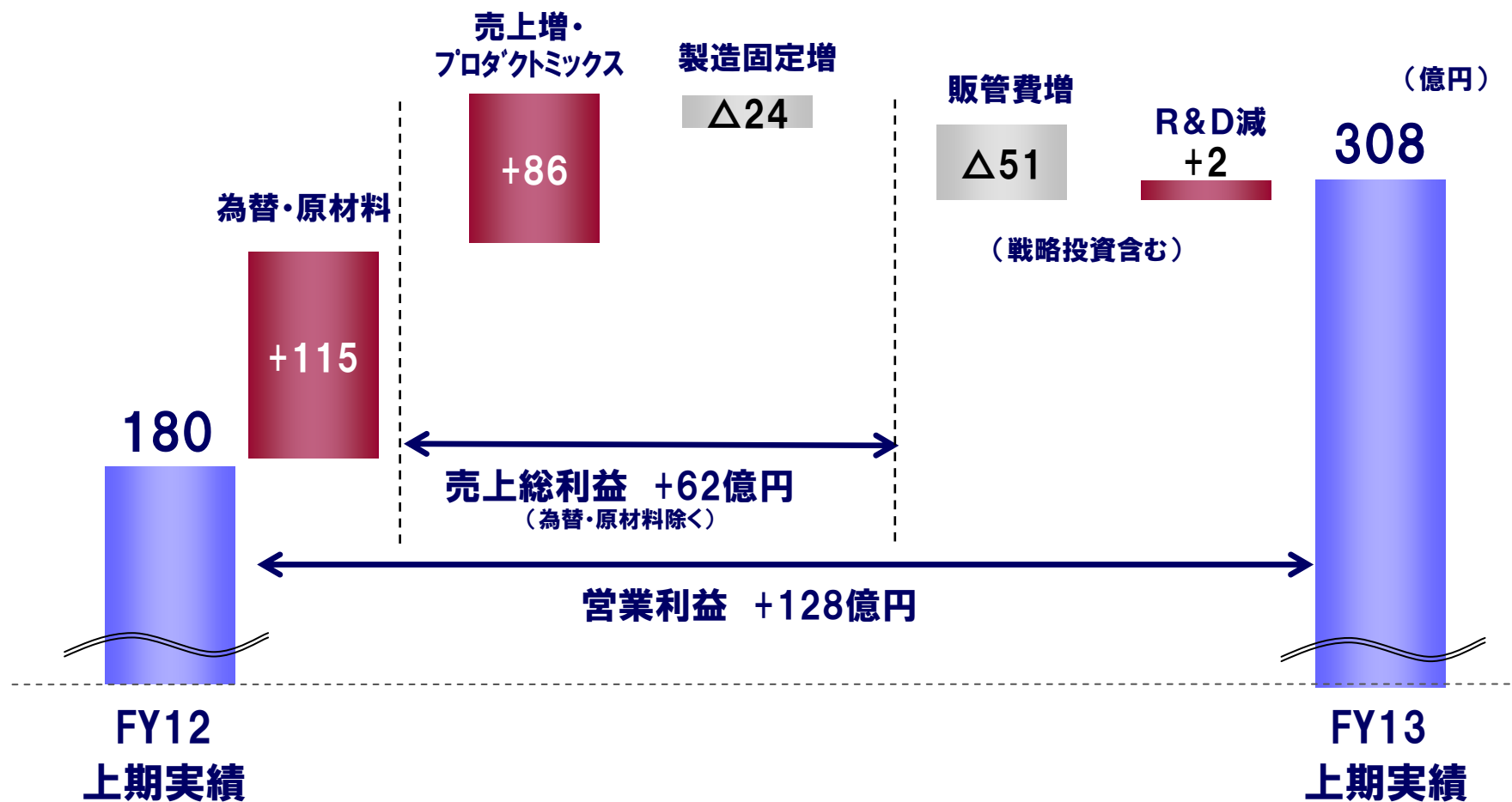
- 為替による増加に加え、売上増をドライバーに上期は営業利益計画を大幅達成。





営業利益増減分析（前年同期比）

➤ 売上増に加え、為替の効果もあり前年同期比でも大幅に営業利益増加。





連結貸借対照表

➤ 売上増加するも前年同期水準を維持し、在庫コントロールは着実に実行。

(億円)

	2013年9月末	2012年9月末	2013年3月末 (参考)
資産の部	6,015	5,147	5,736
現預金	669	495	557
売上債権	1,482	1,211	1,569
在庫	1,062	924	910
在庫(為替除く)	916	924	—
繰延税金、その他流動資産	338	284	301
固定資産	1,301	1,189	1,268
投資その他資産	1,163	1,044	1,131
負債の部	2,036	1,953	2,049
短期借入金	2	137	56
長期借入金	0	0	0
支払い手形及び買掛金等	792	699	756
退職給付引当金	538	576	569
その他負債	704	541	668
純資産の部	3,979	3,194	3,688
資本金・その他剰余金等	4,434	4,429	4,277
その他包括利益(損失)累計額	△311	△803	△443
自己株式	△164	△445	△164
非支配持分	20	13	18
負債及び純資産合計	6,015	5,147	5,736



連結キャッシュ・フロー計算書

➤ 着実に投資を実行しながらも、営業CFの増加により、フリーCFは増加。

(億円)

	2013年度 上期実績	2012年度 上期実績	(参考)2012年度 通期実績
営業活動によるキャッシュフロー	338	270	531
投資活動によるキャッシュフロー	△129	△139	△285
フリー・キャッシュフロー (FCF)	209	131	246
財務活動によるキャッシュフロー	△108	△74	△186
換算レート変動の影響	12	△15	44
現金及び現金同等物の増減額	112	42	105
現金残高	669	495	557

設備投資	136	141	283
減価償却費	119	107	225

※上期設備投資額は、連結キャッシュフロー計算書の資本的支出を適用



事業セグメント別 売上高

➤ 全事業セグメントで期初計画を達成。前年同期比でも大幅な売上増。

(億円)

	2013年度 上期実績	2013年度 上期計画	計画比	2012年度 上期実績	前年同期比
制御機器事業 (IAB)	1,380	1,370	+0.7%	1,299	+6.3%
電子部品事業 (EMC)	488	455	+7.2%	426	+14.5%
車載事業 (AEC)	595	530	+12.2%	473	+25.8%
社会システム事業 (SSB)	291	270	+7.8%	235	+24.0%
ヘルスケア事業 (HCB)	428	390	+9.8%	326	+31.6%
その他事業	385	320	+20.2%	255	+51.1%
消去調整他	30	25	+21.9%	28	+7.1%
合計	3,597	3,360	+7.1%	3,042	+18.2%



事業セグメント別 営業利益

- 売上のみならず、営業利益、営業利益率とも全事業セグメントで計画を達成。前年同期比でも大幅増加。

(億円)

	2013年度 上期実績	2013年度 上期計画	計画差	2012年度 上期実績	前年同期差
制御機器事業 (IAB)	178 (12.9%)	170 (12.4%)	+8 (+0.5P)	156 (12.0%)	+22 (+0.9P)
電子部品事業 (EMC)	39 (8.1%)	35 (7.7%)	+4 (+0.4P)	23 (5.5%)	+16 (+2.6P)
車載事業 (AEC)	43 (7.3%)	35 (6.6%)	+8 (+0.7P)	28 (5.9%)	+15 (+1.4P)
社会システム事業 (SSB)	△18 (-)	△25 (-)	+7 (-)	△19 (-)	+1 (-)
ヘルスケア事業 (HCB)	44 (10.3%)	30 (7.7%)	+14 (+2.6P)	19 (5.9%)	+25 (+4.4P)
その他事業	58 (15.0%)	15 (4.7%)	+43 (+10.3P)	△6 (-)	+64 (-)
消去調整他	△36	△35	△1	△21	△15
合計	308 (8.6%)	225 (6.7%)	+83 (+1.9P)	180 (5.9%)	+128 (+2.7P)

※カッコ内の数字は外部売上高に対する営業利益率

※経営管理区分見直しにより、FY13より「EMC」傘下の一部を「IAB」の事業セグメントに含めています。これに伴い、FY12の営業利益を新管理区分に組替えて表示しています。



GLOBE STAGE 施策の進捗

- グローブステージのコンプリートに向けて、VG施策を着実に実行し、施策ごとの売上成長を実現。

(億円)

	2013年度 上期実績	2012年度 上期実績	前年同期比
IA事業売上高 (IAB+EMC)	1,868	1,725	+8%
新興国 売上高	1,212	898	+35%
環境事業関連 売上高	242	121	+100%



新興国売上成長 (現地通貨ベース)

- ▶ 新興国の一部では成長鈍化の懸念があるものの、VG施策の効果で各エリアで成長を実現。

	2013年度上期実績 前年度比
中国	+ 4%
アジア	+ 12%
うちインド	+ 26%
ロシア/東欧	+ 12%
中南米	+ 27%
うちブラジル	+ 38%



2013年度 通期見通し



エグゼクティブサマリ 通期見通し

【通期見通し】

- 売上、利益ともに期初計画を上方修正。
- 売上総利益率は計画どおりを見通す。
- 当期利益は過去最高。営業利益も過去最高レベルを見通す。

(億円)

	2013年度 通期見通し	2013年度 通期計画	計画比	2012年度 通期実績	前年度比
売上高	7,500	7,100	+5.6%	6,505	+15.3%
売上総利益率	39.0%	39.0%	±0.0P	37.1%	+1.9P
営業利益	650	580	+12.1%	453	+43.4%
当期利益	430	400	+7.5%	302	+42.4%
EPS(円)	195.3	181.7	+13.6	137.2	+58.1



2013年度 第3四半期以降の前提

第3四半期以降の外部環境

- グローバル経済は徐々に回復傾向
- 地域別の経済環境
 - 国内: 緩やかな改善傾向
 - 海外: 米国: 自動車を中心に設備投資需要は堅調
 - 欧州: 景気回復基調に安定感あり
 - 中国: 景気不透明感が継続
 - 新興国: 底堅い経済成長があるものの内需が鈍化

前提条件(為替／原材料価格の第3四半期以降の前提)

為替: USD ... 95円
 EUR ... 130円

(前回見通し: USD ... 90円、EUR ... 120円)

1円変動による影響額(通期)

通貨	売上への影響額	営業利益への影響額
USD	約31億円	約5億円
EUR	約8億円	約4億円

原材料: 銀 ... 76,000円/kg
 銅 ... 750円/kg

(前回見通し: 銀 ... 88,500円/kg、銅 ... 770円/kg)

価格変動による影響額(通期)

原材料	変動額	営業利益への影響額
銀	1,000円/kg	約1億円
銅	10円/kg	約1億円



事業セグメント別 事業環境認識

	3Q以降の事業環境認識
制御機器事業 (IAB)	国内: 半導体、自動車関連投資が徐々に改善傾向。 海外: 米州 : 北米での自動車関連投資の堅調継続。 欧州 : 景気の底打ち感あり。 東南アジア: 韓国の半導体が堅調なものの、東南アジアで不透明感あり。 中華圏 : 不透明感継続。
電子部品事業 (EMC)	国内: 白物家電向け需要は緩やかに増加。 海外: 米国・アジアエリアでの需要は堅調。 欧州・中国の需要は横ばい。
車載事業 (AEC)	国内: 軽自動車を中心に好調。増税前の駆け込み需要を想定。 海外: 北米、中国市場は堅調。アジアでは通貨安に伴う燃料高騰や補助金終了などにより減速。
社会システム事業 (SSB)	駅務機器の更新需要が引続き堅調。 環境関連事業はエンジニアリング、保守メンテ事業の需要拡大継続。
ヘルスケア事業 (HCB)	国内: ヘルスケア・医療データを活用した新たな事業機会の拡大。 海外: BRICsの継続成長。新興市場は拡大継続するも東南アジアで景気悪化傾向。
その他事業 (環境・バックライト・MD・電子)	環境関連事業のパワコンは好調持続、バックライトは横ばい。



事業セグメント別 通期売上高見通し

- 全事業セグメントで期初計画の達成を見込む。前年同期比でも大幅な売上増加。

(億円)

	2013年度 通期見通し	2013年度 通期計画	計画比	2012年度 実績	前年度比
制御機器事業 (IAB)	2,830	2,820	+0.4%	2,630	+7.6%
電子部品事業 (EMC)	980	940	+4.3%	841	+16.5%
車載事業 (AEC)	1,210	1,085	+11.5%	976	+23.9%
社会システム事業 (SSB)	830	760	+9.2%	688	+20.7%
ヘルスケア事業 (HCB)	880	825	+6.7%	715	+23.0%
その他事業	720	620	+16.1%	592	+21.5%
消去調整他	50	50	±0.0%	63	△20.6%
合計	7,500	7,100	+5.6%	6,505	+15.3%



事業セグメント別 通期営業利益見通し

➤ 売上のみならず、営業利益、営業利益率とも全事業セグメントで計画達成を見込む。前年同期比でも大幅増加。

(億円)

	2013年度 通期見通し	2013年度 通期計画	計画差	2012年度 実績	前年度差
制御機器事業 (IAB)	370 (13.1%)	365 (12.9%)	+5 (+0.2P)	313 (11.9%)	+57 (+1.2P)
電子部品事業 (EMC)	85 (8.7%)	70 (7.4%)	+15 (+1.3P)	44 (5.2%)	+41 (+3.5P)
車載事業 (AEC)	85 (7.0%)	70 (6.5%)	+15 (+0.5P)	50 (5.1%)	+35 (+1.9P)
社会システム事業 (SSB)	55 (6.6%)	45 (5.9%)	+10 (+0.7P)	29 (4.2%)	+26 (+2.4P)
ヘルスケア事業 (HCB)	75 (8.5%)	70 (8.5%)	+5 (+0.0P)	44 (6.2%)	+31 (+2.4P)
その他事業	70 (9.7%)	35 (5.6%)	+35 (+4.1P)	25 (4.3%)	+45 (+5.5P)
消去調整他	△90	△75	△15	△52	△38
合計	650 (8.7%)	580 (8.2%)	+70 (+0.5P)	453 (7.0%)	+197 (+1.7P)

※カッコ内の数字は外部売上高に対する営業利益率

※経営管理区分見直しにより、FY13より「EMC」傘下の一部を「IAB」の事業セグメントに含めています。これに伴い、FY12の営業利益を新管理区分に組替えて表示しています。



事業セグメント別 上期／下期

➤ 下期は制御機器、電子部品、車載、社会システム、ヘルスケアで売上増。

(億円)

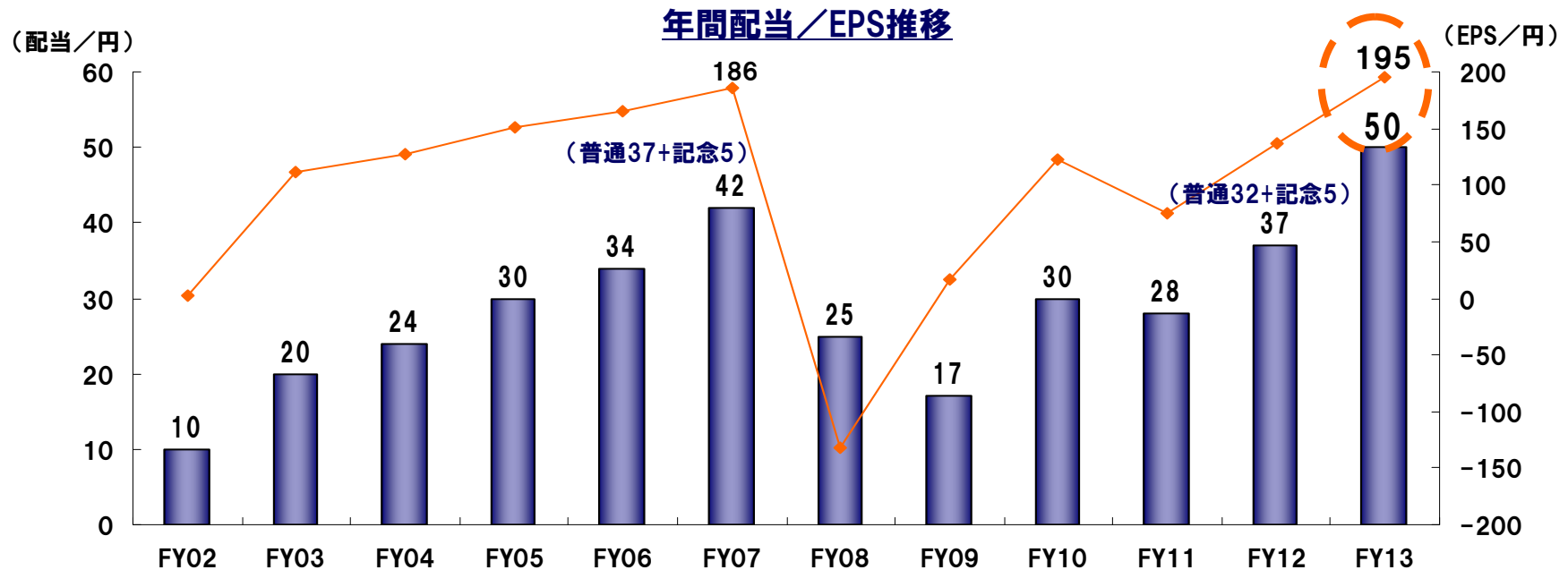
	売上高		営業利益	
	2013年度 上期実績	2013年度 下期見通し	2013年度 上期実績	2013年度 下期見通し
制御機器事業 (IAB)	1,380	1,450	178	192
電子部品事業 (EMC)	488	492	39	46
車載事業 (AEC)	595	615	43	42
社会システム事業 (SSB)	291	539	△ 18	73
ヘルスケア事業 (HCB)	428	452	44	31
その他事業	385	335	58	12
消去調整他	30	20	△ 36	△ 54
合計	3,597	3,903	308	342



中間・期末配当

➤ 「配当性向25%以上」の方針に沿って、従来予想を上方修正し、中間配当を25円とする。従来未定としていた期末配当予想は25円とする。その結果年間配当は過去最高の50円を予定する。

基準日		1株当たりの配当金		
		中間(9月30日)	期末予想	年間予想
配当額	従来予想	18円	(未定)	(未定)
	今回	25円	25円	50円
配当性向		26.0%	—	25.6%
EPS		96.2円	—	195.3円





主要経営指標

➤ ROICなどの経営指標を活用した事業運営を行い、企業価値を高めていく。

経営指標	2013年度見通し	2013年度計画	2012年度実績
売上総利益率	39%	39%	37.1%
営業利益率	8.7%	8.2%	7.0%
ROE	11%程度	10%超	8.8%
ROIC	11%程度	10%超	8.6%

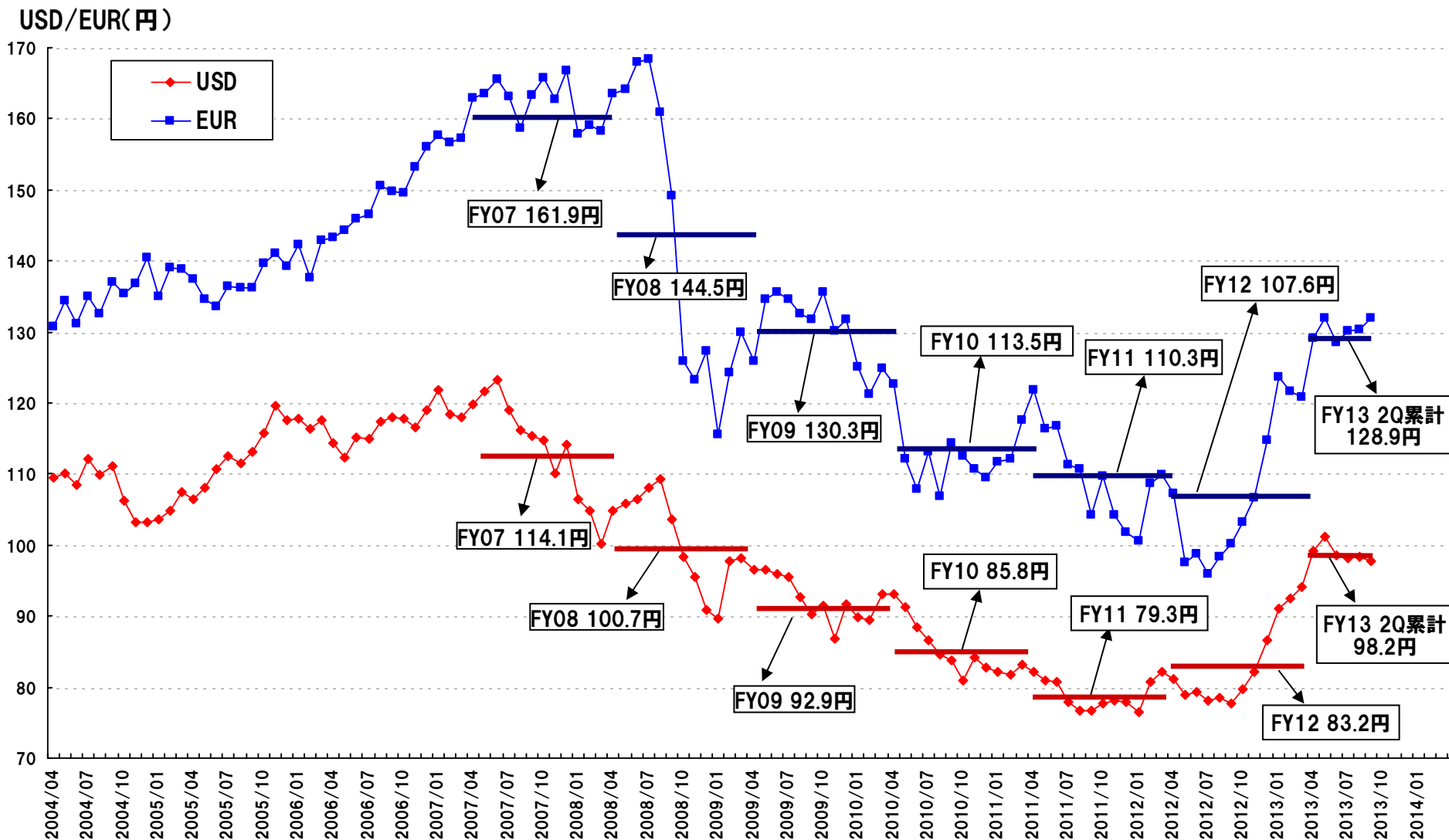
ROIC=当期利益／投下資本



参考資料

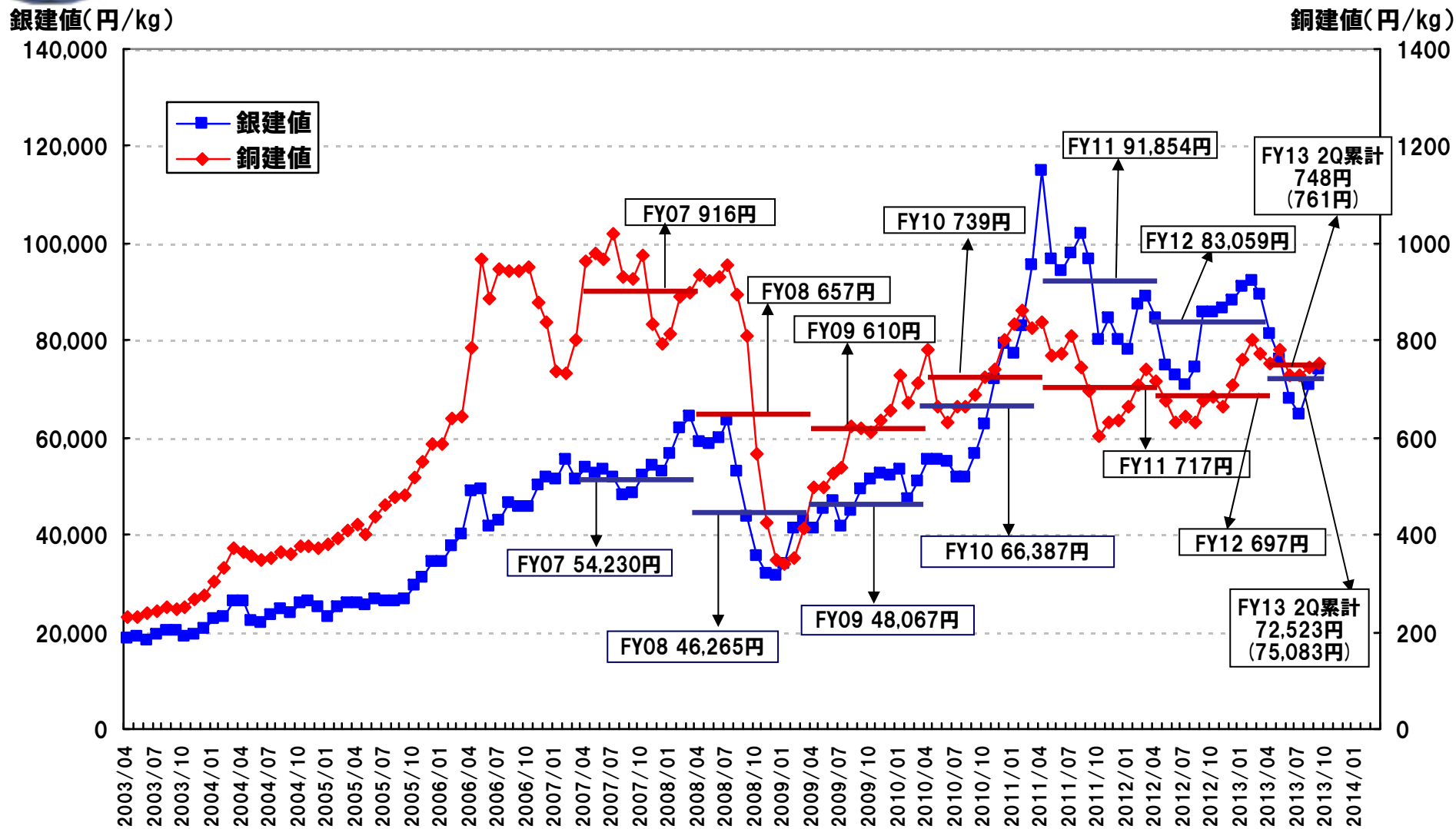


為替レートの推移(ドル、ユーロ)





原材料価格の推移(銀、銅)



※グラフ中の数値は、期中の建値の単純平均値、FY13 2Q累計のカッコ内数値は決算数値算出用の平均値



オムロンの事業内容

(その他事業)

液晶バックライト、半導体・MEMS、
省エネ・環境ビジネス、電子機器など

(エレクトロニク & メカニカルコンポーネンツ)

リレー、スイッチ、コネクタ、
アミューズメント機器用部品、
モバイル機器搭載部品など

- ・電気信号センシング
- ・電流・電圧制御

(オートモーティブエレクトロニク コンポーネンツ)

キーレスエントリーシステム、
パワーウィンドウスイッチ、
電動パワーステアリングシステムなど

- ・電波センシング
- ・ボディ制御

その他事業

電子部品事業 (EMC)

車載事業 (AEC)

制御機器事業 (IAB)

ヘルスケア事業 (HCB)

社会システム事業 (SSB)

(ソーシャルシステムズ・ソリューション & サービス)

自動改札機、自動券売機、
交通管制システム、環境関連事業など

- ・カード・切符搬送技術
- ・車/人センシング

センシング & コントロール

(インダストリアルオートメーション)

近接/光電/視覚センサ、PLC、温度調節器、
セーフティ機器、各種検査装置など

- ・変位・測長センシング
- ・温度コントロール
- ・マシンコントロール
- ・画像センシング

(ヘルスケア)

電子血圧計、体重体組成計、電子体温計、
歩数計、ネブライザ、睡眠計、
動脈硬化検査装置、生体情報モニタ、
健康サポートサービスなど

- ・生体情報センシング
- ・行動情報センシング

連結子会社数等	154
持分法適用関連会社数	10

※2013年9月末時点



<注意事項>

1. 当社の連結決算は米国会計基準を採用しています。
2. 業績見通し等は、当社が現時点で入手可能な情報と、合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により、これら見通しとは大きく異なることがあります。実際の業績等に影響を与えうる重要な要因には、(i) 当社の事業領域を取り巻く日本および海外の経済情勢、(ii) 当社製品・サービスに対する需要動向、(iii) 新技術開発・新商品開発における当社グループの能力、(iv) 資金調達環境の大幅な変動、(v) 他社との提携・協力関係、(vi) 為替・株式市場の動向、(vii) 事故・震災などがあります。なお、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。

<お問い合わせ>

オムロン株式会社

経営IR室 経営IR部

電話 : 03-6718-3421

E-mail : omron_ir@omron.co.jp

HPアドレス : www.omron.co.jp